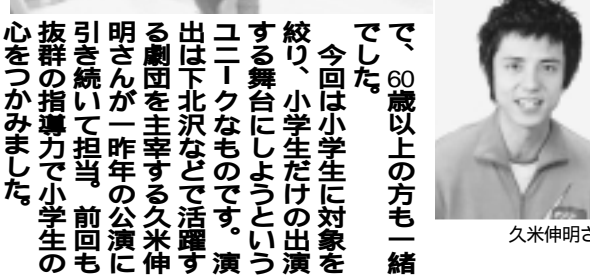


一昨年の舞台けいこの様子



芸術文化センターでは9月2・3日に同センターで行う小学生による演劇公演の「役者さん」を募集しています。一昨年も同センターでは小学生が舞台に立ちました。このときは劇団の公演の一部に出演するというもの

今回の舞台は、脚本やストーリーは全くの白紙。久米さんが応募者の個性を見極め、みんなで話し合いながら一緒に作り上げていきます。「小学生の舞台ですが、学会のようなものにはしたくない。前回は未経験者が多く



久米伸明さん

で、60歳以上の方も一緒に。今回は小学生を対象を絞って、小学生だけの出演する舞台にしようというユニークなものです。演出は下北沢などで活躍する劇団を主宰する久米伸明さんが一昨年の公演に引き続き担当。前回は抜群の指導力で小学生の心をつかみ取りました。

参加しましたが、一人も脱落者が出ずに、千秋楽にはみんな「また舞台に立ちたい」という声があがりました。舞台の経験の有無は全く関係ありません。こんな経験はなかなかできないので、夏の思い出としてぜひ応募してほしい」と同センターでは話しています。

募集方法 5月31日(水)までに住所・氏名・性別・小学校名・学年・連絡先・参加への意気込み・芝居歴・自分以外のものになれるとしたら何になりたかを書いて、顔写真を同封の上、〒181-0001 三鷹市芸術文化センター小学生演劇公演係へ申し込む。申し込み期限については同センター ☎47 51222へ。

この夏、君をプロデュース！ 芸術文化センターの舞台に立つ

三鷹ネットワーク大学 日本女子体育大学企画講座 舞踊学入門「舞踊芸術と身体表現を考える」
バレエなどの舞踊芸術の歴史の展開を中心に、身体表現について映像も交えて考えます。
講義内容 クラシックバレエの展開 ダンスが作り出す現代コミュニケーションなど。
5月25日・7月6日の毎週木曜日(全7回) 午後7時～8時30分 三鷹ネットワーク大学で。受講料各回1千円(在勤・在学を含む市民は700円。市民で学生は600円)。1回のみ受講も可。
申込書に必要事項を記入し、同大学「〒181 0001 3下連番3 24 三鷹駅前」へ。
協同ビル3階三鷹ネットワーク大学へ直接または郵送で申し込む。募集要項は市政窓口、コミュニケーションセンター、図書館、社会教育会館、市民協働センターで配布するほか、同大学のホームページ <http://www.mitaka-univ.ac.jp/> から入手できます。先着20人。
くわしくは同大学 ☎40 0313 (月曜日・祝日は休館日)へ。
講演会「虹色」の社会をめざして
国際基督教大学センター研究センター・21世紀COEプログラム・C Week・Summation共催、市後援。差別・偏見など困難な状況に
おかれていた性的マイノリティの人々を通して、多様性について考えます。
5月23日(火)午後0時30分～2時30分 国際基督教大学旧D館オーディトリウムで。講師は大府議会議員の尾辻がな子さん(英語同時通訳あり)。当日、直接会場へ。
同センター ☎ 33 3448

補助金額 1人につき年額9千円

6月16日(金)までに各学校にある所定の書類に記入し、学務課(教育センター1階)へ郵送可。または各市政窓口へ申請する。書類がない場合は学務課へご連絡ください。振込指定口座の名義が申請者と異なる場合は、委任状が必要で。
学務課 ☎内線3232

山本有三記念館 臨時休館のお知らせ

5月23日(火)～6月11日(日) 同館 ☎42 6233
コミュニケーション文化室 ☎2 517
花季とつき展を開催
市・市教育委員会・芸術文化協会主催 三鷹市月会主催 市民文化祭の一環として花季とつき展を開催します。毎日先着50人にさつき若木を無料配布します。
5月22日(月)～25日(木) 午前8時30分～午後5時(22日は午前10時から、25日は午後3時まで)。市役所1階市民ホールで。
当日、直接会場へ。
三鷹市月会(六戸) ☎31 7565

募集

三鷹市社会福祉事業団 職員募集
職種 介護職(契約職員2人)、サービスマン(契約職員1人)、ホームヘルパー(登録職員若干名)。
応募資格 (年齢はいずれも平成18年4月1日現在) 50歳未満の方、50歳未満で介護福祉士またはホームヘルパー1級資格者、ホームヘルパー2級以上の方。
勤務場所 老人保健施設はなかいどう、ヘルパーステーションはなかいどう、市内の高齢者宅など。
くわしくは同事業団(土・日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時) ☎44 5221
1. <http://www.mita-kaor.jp/>

中近東文化センター附属「三笠宮記念図書館」がスタート

日本における中近東研究の拠点のひとつとして、この4月から「三笠宮記念図書館」がスタートしました。市民のみなさんをはじめ地中海・中近東世界に広く興味をお持ちの方のご利用をお待ちしています。
開館日 毎週金・土曜日
開館時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

ボランティア募集
主な作業 図書館受付、蔵書点検・整理、パソコン入力
経験、資格の有無、年齢は問いません。
☞同館(大沢3-10-31) ☎32-7114

「中近東の織物～コプト織とペルシア錦・絨毯～」展開催中

中近東文化センター主催(三鷹市・武蔵野市共催)
開催期間 7月2日(日)まで
開館時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)
休館日 月・木曜日
入館料 一般800円、高・大生500円(団体15人以上は200円割引) 65歳以上400円、中学生以下は無料



金糸織多彩ポツ葉文錦 イラン 17世紀末

出光美術館常設展示「出光美術館名品展」同時開催中

市民文芸
三鷹短歌会4月の秀歌 (選評) 金田 豊重
雨降りて墨図つく幼を叱りおき異物に行きしかの日をももふ
小林 澄子
「評」ふつと思ひ出した昔の出来事。既に大きくなった子供どもにとっては懐かしいことである。とあつても、作者にとっては懐かしいことだ。
夕焼けの空に移る夕花みとれる音に花びらの舞ふ 花輪 明子
「評」時間の推移によって夕焼けは色合いを変え、それに伴って桜花もまた趣を微妙に変化させる。時間の推移が見せる美しさを捉えている。「見とれる」に実感が籠もる。
庭園のすがれの中に萌え出し淡きみどりの春蘭の花 松村美恵子
「評」下の句の「淡きみどりの春蘭の花」の弾むような節調から、待ちわびた春の到来を喜ぶ気持ちがあふれている。
三鷹俳句会4月の秀句
暁 暁 井上弘 飯田六斗
尼手をぶくくらす包む夕桜 清水ゆきえ
母がうしろ返りさす背に春日射し 南みち
光り合ふ落花の中の逆上り 根岸操
故郷によろすやありて種袋 久々谷ゆき子
鐘の音は山をはなれる花の雲 大和谷慈子
花冷や城の中らき火縄銃 小泉素夫
それぞれの旅立ち見送る花三分 伊藤紫香
安曇野は何処も水音書の風 岡田幸子
戦争を知る樹平和へ芽吹き初む 拝司團子
鐘の白鳩清し花万葉 小木曾真子
残照を孕む風あり夕桜 田山光起
散る花と調香捕鯨の肉を食う 柳和男
茶鐘の二打で聞く山桜 根岸敏三
雁行くや多摩に暇の音落し 横田隆司
花万葉のさき構はさくら色 田中淑子
鯛犬に腹跳まれけり四月馬鹿 浅沼仁孝子
地上絵に接吻させてみたかな 大久保英一
車座の肩に舞い散る花吹雪 板橋くら子